

平成 23 年 6 月 13 日  
会社名 株式会社 清水銀行  
代表者名 頭取 山田 訓史  
(コード番号 8364 東証第一部)

## 営業支援システム導入について ～お客さまとのリレーション強化～

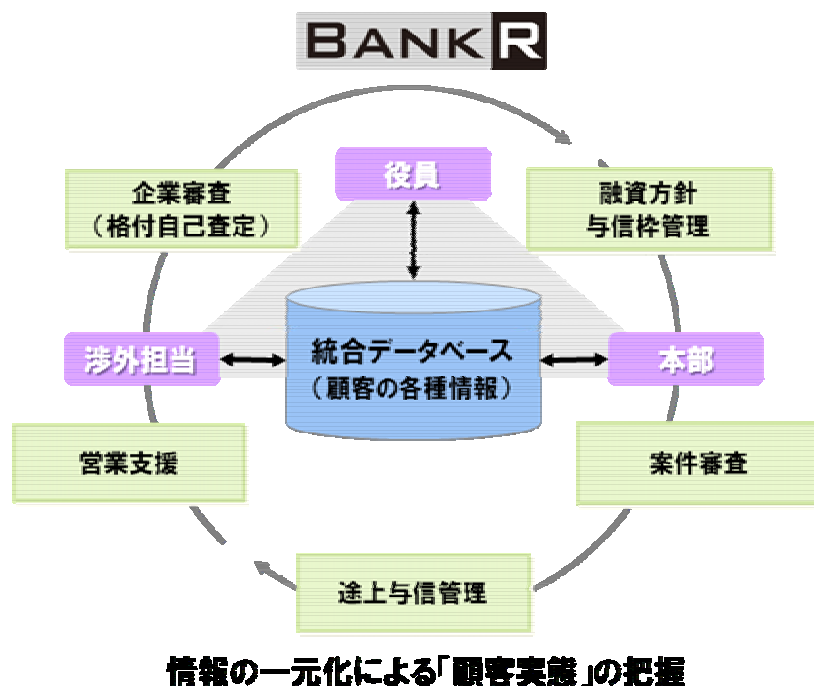
株式会社清水銀行（頭取：山田訓史）は、構築を進めていた営業支援システム「BANK-R（バンクアール）」を平成 23 年 6 月 13 日より稼働させましたのでお知らせします。

当行は「BEST PARTNER BANK～地域に密着し、地域とともに成長する～」を目指す姿として掲げ、地域密着型金融を推進する中で、収益力強化に向けて営業推進と業務効率化に積極的に取り組んでおり、この実現のためにシステムの刷新を実施しました。

記

### 1. 本システムの概要

- システム導入後は、渉外内容や企業情報など、各部門で得た情報を統合データベースとして一元管理することにより、顧客実態を渉外担当、役員、本部で把握することが可能になります。それにより、共有化されたデータに基づいた営業支援、企業審査、融資方針、与信枠管理、案件審査、途上与信管理を、一連の業務として実施することが可能になります。また、融資稟議事務の電子化により、ペーパーレス化を実現するもので、稟議プロセスの効率化、審査基準の一層の統一化・明確化を可能とすると同時に、コスト削減にも寄与します。



## 2. 本システム導入のメリット

### お客さまとのリレーション構築による営業力強化

- ・ 営業店および本部の役職員がお客さまの情報をリアルタイムで共有化できることから、お客さまのさまざまなニーズに営業店、本部が一体となって迅速にお応えします。
- ・ 融資業務における一連のプロセスをすべて電子ベースにて処理するシステムであり、融資業務が大幅に効率化されることで営業時間が創出され、お客さまとの更なるコミュニケーションの強化、情報収集力の向上が図られます。

### T o D oチェックによる業務効率化

- ・ 受け付けた案件の管理、実行予定日などあらゆる期日管理を一覧にして「見える化」を実現した結果、どの行員が見ても顧客の状況がわかり、自分が何をしなければならないかが即時に判断できる。
- ・ T o D oチェック（いつ、何をしなければならないのか）により入行年次の若い行員でも業務の効率化が図られる。

### 審査のスピードアップによる顧客利便性の向上

- ・ 電子稟議による完全ペーパーレス化で紙ベースの稟議配送に要していた時間的なロスを排除でき、稟議の一層のスピード化を実現します。
- ・ また、貸出稟議申請に必要なデータ及び帳票は本システムから取得することが可能となり、他システムへの照会を大幅に削減することで稟議作成に係る業務の効率化が図られます。

### ペーパーレス化による紙消費の大幅削減とコスト削減

- ・ ペーパーレス化の実現により、当行の紙消費量の大幅削減に繋がります（紙資源の節約による環境問題への対応）。
- ・ また、貸出稟議に係る帳票の電子化を実現することで、帳票の在庫管理の手間が大幅に削減でき、かつ担当者が必要書類をさがす手間もなくなり、大幅なコスト削減が図られます。

### 統合データベースによるデータ一元管理

- ・ お客さまの財務情報・定性情報・営業情報等をデータベースで蓄積し一元管理することで、これらの情報の分析が可能となることから、お客さまに対してより高度で多様な金融サービスの提供が可能となります。

### セキュリティ機能の高度化と危機管理体制の充実

- ・ 紙ベースによるデータ紛失等の危険性が排除できるほか、安全性の極めて高い建物である本部内のサーバーに稟議データを完全保護していることで、円滑な業務運営が継続できる体制となります。
- ・ 営業店が巨大地震・火災等で焼失したとしても稟議データは本部サーバーで完全保護されることとなります。

以 上